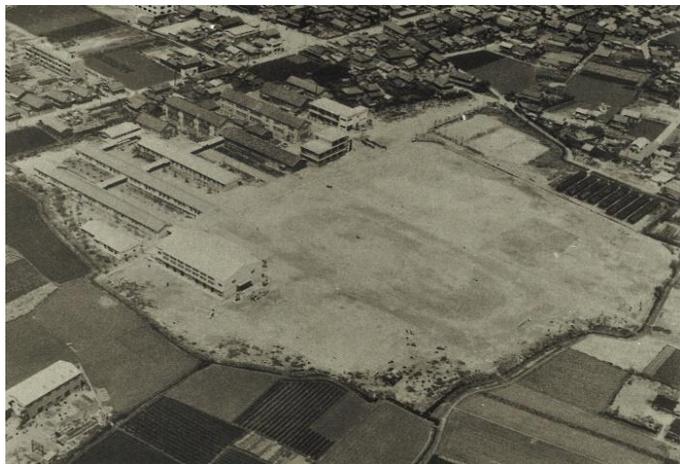


徳島市富田中学校のあゆみ Ⅲ 発進（昭和30年代）



昭和30年代、学校環境の充実は著しく、
富中教育は、その個性をいきいきと主張し始めます。
「眉山のみどり」が、その躍動を見守っていました。



学校環境：校舎が次々と新築、増築され、体育館や別棟の音楽教室、さらにピロティ壁画や光の園など教育環境も順次整いました。昭和33年5月には、給食も開始されるなど、学校生活は充実していきました。



部活動：市陸五連覇の中心的役割を果たした陸上部の活躍（トラック競技での全国的な記録）やブラスバンド部の躍進など、名実ともに、「文武両道」が富中のよき伝統となっていくます。



授業：101段階評価、等質学級編成（能力別）など富中独自の教育実践を重ね、39年には富中研究誌『人間教育の形成』を全国に公刊しました。



校歌・応援歌：昭和37年5月17日に、岡本優太郎初代校長の歌詞に、東京芸術大学音楽部長の下総皖一氏が曲をつけて制定されました。「眉あげて仰ぐ眉山の」で始まる応援歌Ⅰは、すでに昭和29年頃から歌われていました。